

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
英語	講義	2	泉谷 律子
【授業のテーマ及び到達目標】 英語で聞く、読む、書く、話すという 4 技能を統合して向上させ、テーマに関する語彙力と文章構成力を培うことで、日常の事柄や習慣、趣味や仕事について英語で表現ができ、やりとりができる。			
【授業の概要】 英語で自分らしく他者とやりとりする能力と自信をつけるために、テキストの内容に沿って、リスニング、音読・発音練習、100 語～200 語の記事のリーディング、場面に合わせたペアによる会話練習、クイズ形式のクラスアクティビティ、スピーチ、プレゼンテーションに取り組む。毎回小テストを行う。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス、Classroom Language、英語による自己紹介			
2. Nice to meet you! 会話練習 1・2、文型・文法練習			
3. Nice to meet you! 文型・文法練習、リスニング、リーディング、ミニスピーチ			
4. What do you do? 語彙、会話練習、文型・文法練習、発音			
5. What do you do? リスニング、リーディング、ミニスピーチ			
6. Do you like spicy food? 語彙、会話練習、文型・文法練習、発音			
7. Do you like spicy food? リスニング、リーディング、ミニスピーチ			
8. Review Units 1-3、グループプレゼンテーション			
9. How often do you do yoga? 語彙、会話練習、文型・文法練習、発音			
10. How often do you do yoga? リスニング、リーディング、ミニスピーチ			
11. What are you watching? 語彙、会話練習、文型・文法練習、発音			
12. What are you watching? リスニング、リーディング、ミニスピーチ			
13. Where were you yesterday? 語彙、会話練習、文型・文法練習、発音			
14. Where were you yesterday? リスニング、リーディング、ミニスピーチ			
15. Review Units 4-6、グループプレゼンテーション			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:テキストの指定された箇所は必ず読み、知らない単語を調べ、問題を解いておく。			
学習のあり方:翻訳ソフトではなく、紙か電子辞書もしくは Weblio 辞書などの辞書ソフトを用いること。			
復習のあり方:間違ったところを見直し、学んだことを定着させるよう心掛ける。			
【成績評価】			
小テスト30%、プレゼンテーション10%、課題提出30%、定期試験30%			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小テストと課題はコメントをつけて返却、プレゼンテーションは全体に向けてコメント。			
【テキスト】			
SMART CHOICE THIRD EDITION MULTI-PACK 1A, Ken Wilson, 出版社 Oxford University Press, 出版年 2016			
【参考文献】			
授業中に適宜紹介する。			